

交流セッション5：家族支援専門看護師の誕生に向けて

プランナー：鈴木 和子

元東海大学健康科学部看護学科

鈴木 和子 元東海大学・家族支援リサーチセンター湘南代表

竹村 華織 海老名総合病院 藤野 崇 近畿大学医学部附属病院 ・他

高知女子大学、東海大学の大学院修士課程に家族看護専門看護師の養成課程が設置されてから10年余が経過した。また、昨今、新たに養成課程が追加申請されている中、本年5月、「家族支援」専門看護分野の特定がようやく決定した。

いよいよ個別申請が本格化する段階になり、候補者たちは、その準備に鋭意、努力しているが、そのような中で、家族支援専門看護師が誕生してからの活動を今後どう展開していったらいいのか、多様な時代の家族ニーズに応えるためには、どのようなエキスパートネスや専門的なスキルが求められているのかを改めて確認することが必要となっている。また、それらのスキルを発揮するためには絶え間ない研鑽が続けられなければならないが、そのための本学会やその他のサポート体制の確立はどうしたらよいかについても考えてみたい。

今回のセッションには、家族支援専門看護師の誕生に向けて、どのような点に留意して新たな第一歩を踏み出したらいいのか、今後の課題について関心のある多くの方々に是非ご参加いただき、家族支援専門看護師が保健医療分野で定着していくための活動の方向性や建設的な提案を共に考えていただければと願っている。